

事務事業名	家庭教育啓発推進事業		会計	一般会計				
			事業種別	政策	開始	20	終了	24
課等名	生涯学習・スポーツ課	係等名	地育力向上係					
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	24	家庭教育の充実					

目的	対象(誰・何を)	市民 家庭	対象指標	指標名及び単位			24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	市民には地域ぐるみで家庭の教育力を支える意識を高めてもらう 家庭には子どもの養育は第一義的には親の責任であること		飯田市の人口(人)			103947
	向上させたい上位施策の成果指標	基本的生活習慣を習得している子どもの割合		子育てをしている家庭(戸) (0歳～18歳までの子どもがいる家庭)			10237

目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	「結いタイム」と「結いの日」の啓発実施回数。			17	18	20	25	
	定性目標								

**事業概要**

- ・家族と一緒に過ごし心を通わせるひと時を「わが家の結いタイム」と名づけ、各家庭において充実した結いタイムが日常的にもたれるように普及啓発する。
- ・家族で一緒に行う「あいさつ」、「会話」、「お手伝い」、「読書」の4つを啓発活動の重点ポイントとする。
- ・こうした家庭での行動を通して、子どもたちは、家族の絆を実感し、人との人間関係、コミュニケーション、自立心・責任感・感謝の気持ち、表現力・想像力等々を身に付けていく。同時に親自身も子どもの成長を実感しながら育ちをしていく。
- ・毎月第3日曜日の「家庭の日」を「結いの日」として、また、7月、11月、2月を推進月間として重点的な取組みを行う。
- ・地域団体、幼稚園・保育園、小中学校、行政が連携した推進体制を構築し、地域ぐるみの運動として、多様な啓発活動を行う。

事業内容		名称	活動指標
24年度事業内容	1 わが家の「結いタイム」の浸透に向けた啓発活動 (1)「結いタイム」ポスターコンクールの実施 (2)「結いタイム」三行詩コンクールの実施 (3)FM放送等による「結いの日」の啓発及び啓発用チラシの配布 (4)街頭啓発活動の実施(7/12、11/7) (5)PTAわが家の結いタイム担当者選任(28人)、研修会開催(7/14、10/27) (6)教頭会プロジェクトの開催、各小中学校を起点とした普及啓発活動	1 (1)応募数 (2)応募数 (3)啓発放送・チラシ配布 (4)街頭啓発活動 (5)研修講座 (6)実践校	1 (1) 79点 (2) 2232点 (3) 16回 (4) 2回 (5) 2回 (6) 28校(全校)
	2 わが家の結いタイム推進協議会の開催(6/18、10/23) 方針決定、計画策定、評価等を行う、幼保代表2名が新たに参画	2 推進協議会開催	2 2回

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	432	451	359	0	
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	100				
一般財源	332	451	359	0	
人件費計(千円)②	1,559		1,559		
正規職員所要時間	400		400		
臨時職員所要時間	120		120		
総事業費①+②	1,991	451	1,918	0	

**事業内容・目標達成状況の振り返り**

24年度から幼・保からも推進協議会に加わってもらい、幼保から小中までの一貫的な取組みにつなげる推進体制を整備した。三行詩コンクールの応募が2,000点を超えたが、作品づくりの過程が各家庭での結いタイムの大切さを考えるきっかけとなっている。

20年度にスタートした啓発活動の継続により、「わが家の結いタイム」が徐々にではあるが地域に浸透してきている。

**改革改善の考え方**

①問題点 家庭、地域団体、幼稚園・保育園、小中学校が連携した取組みを更に進めて、地域ぐるみの活動に発展させていくことが必要。家庭教育の啓発と学習を一体的に行うべき、スローガンをもっと解り易くすべき等の意見をいただいた。

②改革提案 25年度から家庭教育啓発推進事業と家庭教育推進事業(社会教育)を「家庭教育推進事業」に統合し、啓発と学習に関する事業を関連付けて実施する。スローガンは、シンプルな文言に統一する。